

教 育 課 程 等 の 概 要															
(薬学研究科 医療薬学専攻 博士課程(4年制))															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
医療薬学講義	医療薬学総合講義	1前	2			○			5					オムニバス	
	小計(1科目)	—	2	0	0	—			5	0	0	0	0		
高度専門教育科目	病態解析・薬効制御学分野	病態画像診断学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		薬効分子設計学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		神経内分泌・栄養学特論	1・2後		2		○			1					隔年開講
		神経再生薬学特論	1・2後		2		○			1					隔年開講
		病態解析・薬効制御学演習	1・2後		2			○		3	1				隔年開講・オムニバス
	薬物治療設計・管理学分野	急性期薬物治療管理学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		生体分子解析学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		感染制御学特論	1・2後		2		○			1					隔年開講
		免疫制御薬学特論	1・2後		2		○			1					隔年開講
		薬物治療設計・管理学演習	1・2後		2			○		3	1				隔年開講・オムニバス
	医薬品解析・開発学分野	抗血栓薬開発学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		食品生化学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		抗体医薬品開発学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		含金属医薬品開発学特論	1・2後		2		○			1					隔年開講
		医薬品解析・開発学演習	1・2後		2			○		3	1				隔年開講・オムニバス
	社会環境薬学分野	腫瘍薬学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		がん予防学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		精神衛生薬学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		環境・薬剤疫学特論	1・2後		2		○					1			隔年開講
		社会環境薬学演習	1・2後		2			○		2			1		兼1 隔年開講・オムニバス
小計(20科目)		—	0	40	0	—			12	3	0	1	0	兼1	
医療薬学実習	実践的医療薬学演習	1・2前	2				○		4					隔年開講・共同 隔年開講・共同(学内) 共同(学外)	
	フィジカルアセスメント学内実習	1・2前	2					○	4						
	フィジカルアセスメント臨床実習	2後～3前	2					○	4						
	小計(3科目)	—	4	2	0	—			4	0	0	0	0		
博士論文研究	課題研究	1～4通	12				○		12	3		1			
	小計(1科目)	—	12	0	0	—			12	3	0	1	0		
合計(25科目)		—	18	42	0	—			16	3	0	1	0	兼1	
学位又は称号		博士(薬学)			学位又は学科の分野			薬学関係							
修了要件及び履修方法								授業期間等							
<p>【修了要件】本課程に4年以上在学して所定の授業科目について30単位以上(必修18単位・選択12単位以上)を修得し、且つ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>(1)医療薬学講義について必修1科目、2単位を修得すること。</p> <p>(2)高度専門科目の特論について4つの分野の中から5科目以上選択し、10単位以上修得すること。</p> <p>(3)高度専門科目の演習について4つの分野の中から1科目以上選択し、2単位以上を修得すること。</p> <p>(4)医療薬学実習について必修2科目、計4単位を修得すること。</p> <p>(5)博士論文研究の必修12単位を修得すること。</p>								1学年の学期区分			2学期				
								1学期の授業期間			15週				
								1時限の授業時間			90分				